

SAKU 未来 100 人会議

第 1 回 NEW アイディアチーム ミーティング【報告】

- 主催：NEW アイディアチーム (SAKU 未来 100 人会議)
- 共催：NPO 法人タウンネット
- 日時：平成 28 年 10 月 22 日 (土) 15:00～17:00
- 場所：佐久市市民活動サポートセンター (野沢会館 2 階)

議事録

1. 挨拶

- 総合司会の挨拶【NPO 法人タウンファンネット】
- SAKU 未来 100 人会議事務局から趣旨説明と挨拶【佐久市市民活動サポートセンター】

2. ミーティングのガイドラインの説明

- NPO 法人タウンファンネットの紹介
- 第 1 回ミーティングの概要説明【NPO 法人タウンファンネット】

3. 神奈川県事例紹介

- プロジェクターにて神奈川県事例紹介【NPO 法人タウンファンネット】
 - ①商店街ツアー「秦野落花生掘り取りと商店街散策」の事例紹介
 - ②子ども店長 (子ども商店街) の事例紹介
 - ③商店街アイドル・スターコンテストの事例紹介

4. 意見交換会

- ①参加者自己紹介【22 名】
- ②タウンファンネットと佐久の関わりを説明
- ③事例紹介での質疑応答及び意見
 - ・佐久市でツアーを行う場合、交通がポイント (行く場所が全て距離がある為)
 - ・市外から参加して頂く場合は宿泊のプランを考えた方が良い。
 - ・野沢のびんころ地蔵の門前市でも子ども門前市を開催し、非常に良かった。
- ④佐久市について (各参加者のコメント)
 - 観光について
 - ・JRで行っているハイキングがある。それぞれの団体が協力的 (お菓子提供・バス提供等)
 - ・「とげぬき地蔵」をヒントに「びんころ地蔵」が実現した。地元の協力がカギ。
 - ・観光客・消費者等がリピーターになるものを考える。
 - ・素晴らしい景色が売りだ。景観バスツアーがいい。

- ・「山荘あらふね」は料金が安いのでツアーの宿泊に適しているのでは。
- ・冬の八千穂のスキー場は素晴らしくいい場所。
- ・春に農業体験(案)。(手植え体験&収穫体験など)
- ・茅ヶ崎(海)と佐久(山)でバスツアーなど交流が出来るといい。
- ・観光ガイドは載っていない素晴らしいものがある。(神社・自然など)
- ・既存の観光等のMAPより解りやすく見やすいMAPがあるといい。
- ・観光地という考え方ではなく、何かができるフィールドという考え方。
- ・それぞれの地区にある公共施設(スポーツ施設・文化施設など)の活用。

■Uターン・Iターン者の移住

- ・安易に移住者を増やすのではなく、どうしたいかを考えることが重要。
- ・批判するのは簡単だが、動いている方は大変。
- ・地元に移住者がなかなかない。
- ・Uターン・Iターン者の受け入れに対して行政と市民が理解し合っているのか。
- ・人口を増やすことも大切だが、交流人口(観光や仕事で来る)も重要。
- ・茅ヶ崎でも地元民と移住者には隔たりがある。
- ・少子高齢化を考えると移住者(若者)は重要なカギである。
- ・長野県は全国的に地元愛が高い県。地元愛を活かしIターンが増えないか。
- ・新しい産業(企業誘致)が移住者(若者)を増やす。

■佐久全般

- ・佐久市は均一化しないでエリアエリアの良さがあるので活かした方が良い。
- ・施設と近隣商店会との連携が中々うまくいかない。
- ・大学生・高校生の協力や一緒に何かをする流れがほしいのが現状。(パワー面の補充)
- ・外に目を向けるのか、中に目を向けるのかパワーバランスを考えるべき。
- ・どこかで成功したことが、必ずしも佐久で成功するとは限らない。佐久流のアイディアを考えることが重要。
- ・地域高原野菜の活用。
- ・高齢者はお金を使わない。消費する若者がいないと経済が良くなるならない。
- ・子どもたちに地元の良さを伝えていく。
- ・各団体との連携をうまくする。
- ・世代間の交流をうまくしないと変わらない。
- ・それぞれのエリアの良さを伸ばし、伝えて広めていく。
- ・エリア対抗のイベントなども面白い。

■次回のミーティングに向けて

- ・各エリアの良さを知るための動きが必要。見学会の実施。
- ・小海線を一両借りて沿線交流やミーティングはできないか。(小海線は借りれる)
- ・次回の開催には参加者が引き続き声掛けをして参加者を増やす。(一人が一人連れてくる)
- ・今回参加して下さったメンバーの皆さんとの繋がりが第一歩となる。
- ・エリア別に視察をして情報収集をする。

5. まとめ

色々な地域から20名を超える参加がありました。皆さん10年後の佐久を何か良いものにした
いという思いから参加して頂き、活発な意見交換ができました。色々な問題を出し合うことで次の
時代に残せる佐久が見てきます。

今回のミーティングで、まずは佐久の中に目を向けて各地域の特色をみんなが理解することから
初めてみる流れが確認できました。合併都市である佐久市は地区内での活動が多く、他の地域を知り、
その良さを理解するきっかけがなかなかありません。NEWアイディアチームのメンバーを中心
に各地域を見学し合いながら、交流を持ち、良さを発見することで佐久の良さを内外に発信する
新しいアイディアが生まれてきます。

次のミーティングでは、各地区の魅力を紹介し合いながら、実際に地区をまわる計画をたてて
いきたいと思えます。

